

経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 三木市

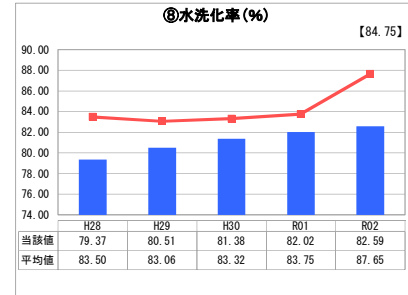
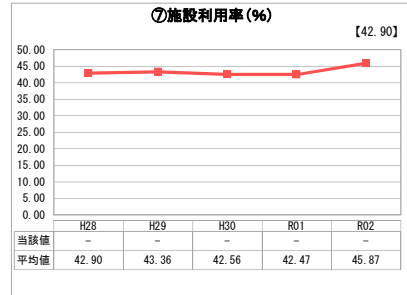
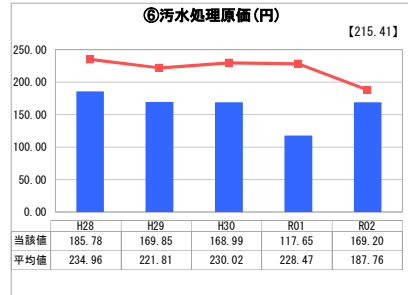
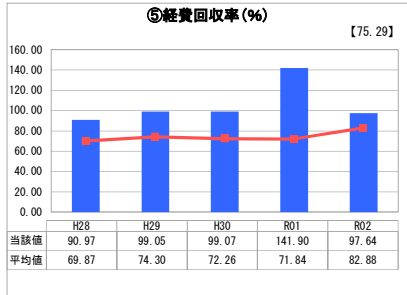
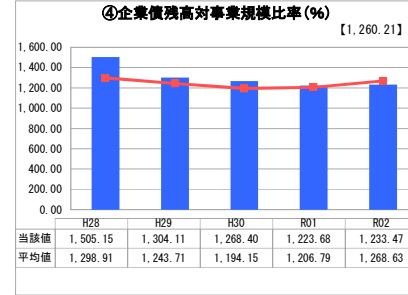
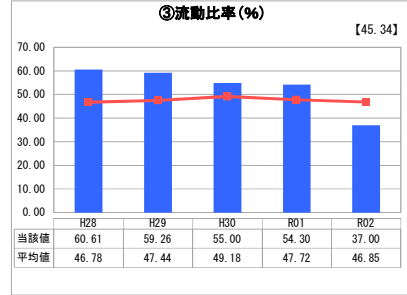
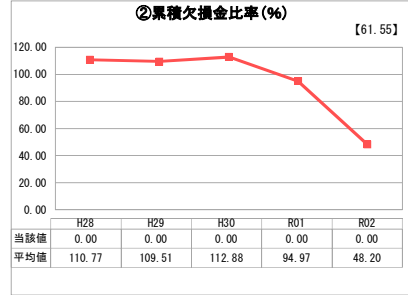
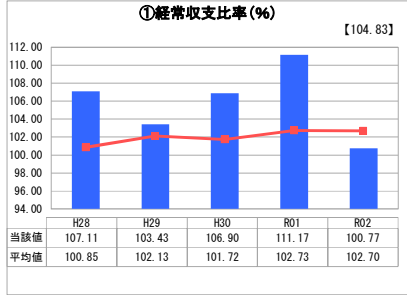
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	43.64	10.99	91.29	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,565	176.51	433.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,365	4.96	1,686.49

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

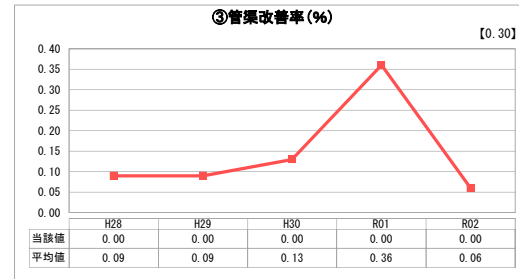
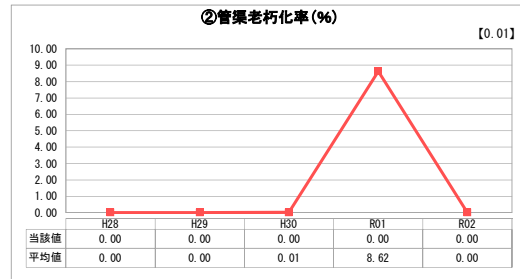
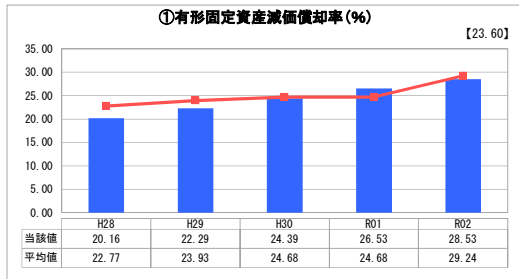
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%だが、類似団体平均を下回っているため、今後も引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は、類似団体平均を下回り、100%未満の状況であり、現金預金等が十分に確保されているとは言えない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、平成26年度までは類似団体平均を下回っていたが、平成27年度以降、新規借入により類似団体平均と同水準となった。
- ⑤ 経費回収率は、令和元年度より100%以上となり、類似団体平均を上回っているものの、今後の人口減少に伴う使用料収入の減少を見据え、引き続き経営の効率化を進めていく必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均より下回っているが、今後の使用料収入の減少を見据え、更なる経営の効率化に努める必要がある。
- ⑦ 特定環境保全公共下水道では単独の処理施設を有していないため、施設利用率の該当は無い。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均より下回っているため、未整備地解消に向けた取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体平均を上回っているが、特定環境保全公共下水道については、下水道整備に着手してからの経過年数が短いため、管渠の老朽化も見受けられない。

2. 老朽化の状況



全体総括

類似団体と比較すると、水洗化率が類似団体より低いため、未整備地解消に向け継続して取り組む必要がある。また、流動比率が100%を下回っており現金預金等の資金が十分に確保されていないため、人口減少に伴う使用料収入減少等、将来見込まれる資金不足が生じないように、今後も引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。